

沖縄FTZと中継貿易の展望

高良 守

▷7◁

『沖縄県自由貿易地域に関する調査報告書』(平成二年度) 国際貿易投資研究所によると「食」に関していえば、現実には

物・免税物資を低価格で提供できれば沖縄の観光関連産業創出にとってこれほど明るいニュースはない。

エンタル・カーペットのような消費者向けの製品にいたる広範な商品を売り込んでいる。

沖繩の自由貿易地域で、も自由貿易地域内で県内消費者や観光客(一般旅行者)を対象にして、免税物資・通関前貨物を販売する形態も可能に

大ショッピングセンターのモールオブ・パシフィックを創造すべきである。もちろんこのモール(自由貿易地域)内においては免税物資・通関前

貨物の安くて良い品を提供できる「ショッピング・センター型フリーゾー」の設立が望まれる。

アメリカは、米国ミネソタ州ブルーミントン市、ミネアポリス、セントポール国際空港から五分に

ン、コンセプトが異なる特徴を持つテーマ・ストリートによって構成されている。一年中サマー・デーをテーマにふんだんに取り入れた自然光と青々とした木々との調和によって屋外でのショッピングを思わせる「ノース・ガーデン」をはじめ、世界のトップ・デザイナーズ・ブランドを売る「サウス・ブルーバー」

日本本土の観光客に人気があるのは平和通りの公設市場である。なぜなら市場で魚を買って二階で料理させて食べるのである。観光客は、本当はもっと海外の屋台街や中華街みたいなものを求めているが、沖縄にはない

スペインのバルセロナ・ゾーンでは、広範な製品の輸入業者を引きつけている。そこでは、商品の展示に重点を置き、洗練された、魅力的なディスプレイによって、コーヒーやココア、綿花のよ

おいても多くの人が出入りするよう世界の商品をそろえ、格安に提供し、そこへ行けば安く良いものが手に入れる。また、子供連れの家族のためにファミリーズメ

に沖縄の県産品・特産品を海外へ発信してくれるようなパイロットショッピングの設置も並行して進めるべきである。

アメリカは、米国ミネソタ州ブルーミントン市、ミネアポリス、セントポール国際空港から五分に位置し、フリーウェイ495号とシダー・アベニューの交差する旧メトロ

シアーズ、メイシーズ、ブルーミング・デールを配置し、その他にコーズ、J・C・ペニー、ソフィスと四百店以上に

も上る専門店、さらにナッツキャンピング・スヌーピーと呼ばれる世界最大の屋内娯楽施設も導入されている。

モールオブ・アメリカは四つのそれぞれデザイン、コンセプトが異なる特徴を持つテーマ・ストリートによって構成されている。一年中サマー・デーをテーマにふんだんに取り入れた自然光と青々とした木々との調和によって屋外でのショッピングを思わせる「ノース・ガーデン」をはじめ、世界のトップ・デザイナーズ・ブランドを売る「サウス・ブルーバー」

魅力ある「空間」の創造を

米の複合型娯楽施設参考

モールオブ・アメリカ

イメージ的にはアメリカのモールオブ・アメリカを参考にし、本県が観光立県と輸入依存型県であるのを組み合わせ、ターの総賃貸面積の三、は四つのそれぞれデザイン、コンセプトが異なる特徴を持つテーマ・ストリートによって構成されている。一年中サマー・デーをテーマにふんだんに取り入れた自然光と青々とした木々との調和によって屋外でのショッピングを思わせる「ノース・ガーデン」をはじめ、世界のトップ・デザイナーズ・ブランドを売る「サウス・ブルーバー」として表現されている。



観光客に人気の那覇市内の公設市場がいわい

(琉大学院生)